

# かえる便り 29年度7号

平成29年5月22日

晩春の候、皆様にはますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

私たちの心は見えないけれど、想いは言動となって表れることがよくあります。それは、心遣い 氣遣い 思いやり です。日常生活ではさりげなくそのような行動ができる素晴らしい人でも、試合中に仲間を思いやる行動（取り返す努力・切り替える・良いサポートをする等）が出来ないことが多々あります。それは選手本人の努力不足もあるでしょうが、仲間を助けるための行動ができるよう訓練していない指導者が悪いのです。日々、悩み葛藤しています。



人はなかなか変わらないからこそ、辛抱強く指導することが大切だと思います。人の幸・不幸の多くは、人間関係に起因しています。学校は選べても教科担当・担任は選べません。指導した時や後に生徒が“良かった”と感じる適切な指導をしているか、日々反省していますが…？どんなに年齢を重ねても“諫言”してくれる存在が必要だと強く思うこの頃です。

来週から教育実習が始まりますが、私が智翠館で最初に教えた生徒が来ます。どのように成長しているか楽しみです。教師に求められる条件は、人に好かれることではないでしょうか？ ○○先生が好きだから一緒に学びたい!! 子どもたちがそのように思ってくれるためには、小さな感動・成功体験が得られる授業をすることが重要です。また、評価の基準がぶれないで生徒を公平に扱う、人として当たり前前の約束・時間を守る存在でなければなりません。そのために自己研鑽を積んで成長してほしいですね!!

いよいよ今週末から総体が始まります。私がイメージするチーム作りの途中段階ですが、春先より良くなってきています。スタッフと部員それぞれが今できること、やらなければならないことを100%発揮して大会に臨みたいと思います。部員の力をさらに引き出すためにも、皆様の力強いご声援をお願いいたします。